

## 「在宅がん緩和ケアを担う医師及び看護師の人材育成事業」について

## 1 千葉県地域医療再生計画（平成24年度補正）の位置づけ

- (1) 事業期間 平成25年度～27年度  
 (2) 事業名 在宅がん緩和ケアを担う医師及び看護師の人材育成事業  
 平成25年度事業開始、総事業費 3,000 千円（基金負担分 3,000 千円）  
 (3) 事業内容

在宅のがん緩和ケアの中核的・指導的役割を担う医師・看護師を養成するプログラムを開発し、在宅療養支援診療所やがん診療連携拠点病院の緩和ケア病棟及び緩和ケアチームにおいて、介護を含めたチームでのケアの実践を可能にするため、実地・実習を中心としたモデル研修を行う。

- (4) 事業主体 千葉県がんセンター

## 2 実績

- 平成25年度 検討会1回開催  
 平成26年度 検討会を通して事業内容の計画と一部修正を行った。

## 3 事業の3つの柱

- (1) 緩和ケア関係者への在宅緩和ケア啓発活動  
 「緩和ケアを深めるためのセミナー」の開催（平成27年3月19日に第1回）  
 (2) 人材育成のための在宅緩和ケア実践モデル診療（平成27年4月スタート）  
 (3) モデル診療のプロセスの中での緩和ケア研修プログラムの確立（平成27年10月頃まで）

## 4 人材育成のための在宅緩和ケア実践モデル診療の概略

- ・ 将来地域で在宅緩和ケアの中核になる人材育成、6か月間の診療（実地研修）
- ・ 医師および看護師各1-2名、がんセンターHPで参加者を公募
- ・ 千葉県がんセンター（緩和医療科）、指導施設（緩和ケア診療所：さくさべ坂通り診療所）
- ・ モデル診療の形態は参加者と調整

例) 同じ2次医療圏の診療所医師が参加する場合、がんセンターから患者を所属診療所と緩和ケア診療所の看護部へ紹介、連携をとりながら診療を行い、定期的なカンファレンスを介してスーパーバイズを受ける。

